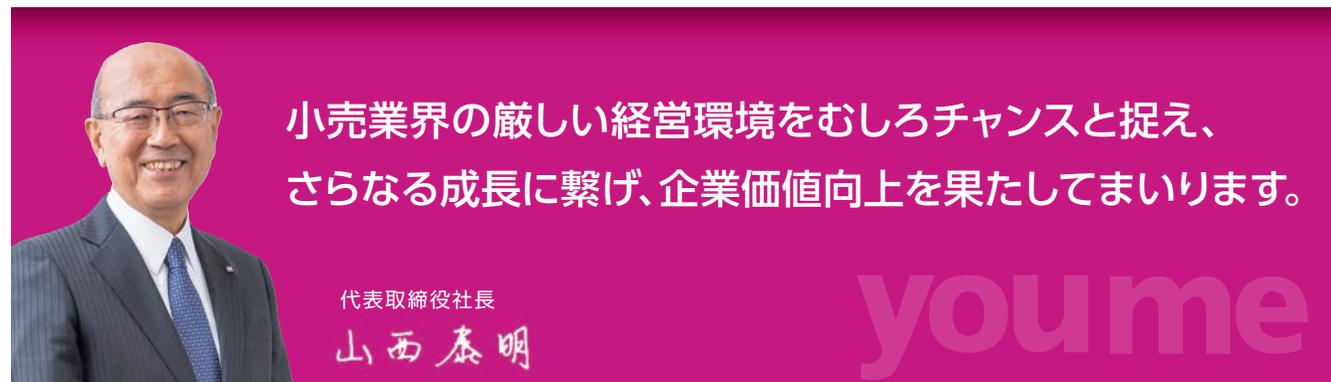


第62期 報告書

2022年3月1日 ▶ 2023年2月28日



株式会社 **イヌ**



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期は、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限解除とともに、社会・経済活動の正常化や消費回復の動きがみられる一方、資源価格の高騰や円安進行による電力料金、食料品・日用品を中心とした物価上昇や景気後退懸念などの影響から、個人消費は依然として不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループは、経営理念「社員が誇りと喜びを感じ、地域とお客さまの生活に貢献し続ける」の下、「地域貢献オンリーワン企業を目指す」をスローガンに掲げ、第二次中期経営計画にて定めた戦略を推進してきました。

主力の小売事業においては、外出・旅行・イベント参加などのオケージョン需要にも回復がみられたことから、消費行動の変化に対応した店舗営業体制に大きく軸足を移して事業を推進しました。商品面では、当社グループ初となる自社製造ブランド「zehi(ぜび)」の展開を4月から開始し、新開発した惣菜・生鮮加工品をグループ全店舗で展開しています。また、GMS店舗におけるライフスタイル売場のリブランディングの一環として、9月より新ブランド「SHUCA(シュカ)」の売場展開を開始しました。

店舗面では、4月に熊本県荒尾市と連携し、「あらおシティモール(9月より『ゆめタウンシティモール』)」内に「荒尾市立図書館」を移転オープンしました。図書館としての機能に加え、地域拠点としてのコミュニティ機能を備え、幅広い世代の方に

憩い・集いの場としてご利用いただいています。また、10月にはワンストップショッピング対応のNSC(近隣型ショッピングセンター)業態として4店舗目となる「ゆめモール西条(広島県)」をオープンし堅調に推移しています。

これらの取り組みに対して販売動向は、直近2年間の同期間において緊急事態宣言が発出されたことにより人出が大きく制限されたのに対して、比較的好天にも恵まれ外出・旅行需要も強まり、大型商業施設「ゆめタウン」等への人出の回復とともに好転してきました。

当社グループにおいては、2030年長期ビジョンとして定めた10年後のありたい姿を地域の皆様と共創してまいります。また、小売業界の厳しい経営環境をむしろチャンスと捉えることでさらなる企業成長に繋げ、企業価値の向上を果たしてまいります。

これらにより、お客様の満足を実現するとともに、地域ドミナントのさらなる拡大・深耕を図っていくことで、経営効率を高め、より一層の企業成長に繋げてまいります。

なお、2021年4月の第二次中期経営計画公表以降、急激な環境変化に対し、当社グループとして最適な対応を実施するため、第二次中期経営計画の戦略および計画数値の見直しを行い、2023年4月11日付にて公表しました。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

進化し、深化する「youme」を。
地域になくはない存在。私たちは「地域一番店」を目指します。

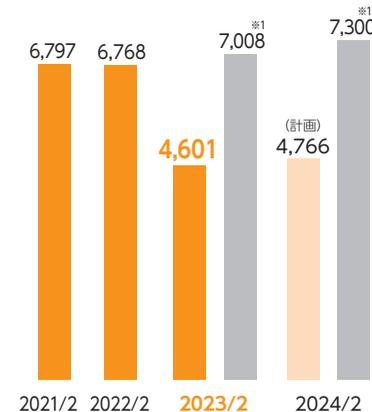


連結財務ハイライト

営業収益

4,601億円	7,008億円 ^{*1} (前期比) 103.5%
---------	--

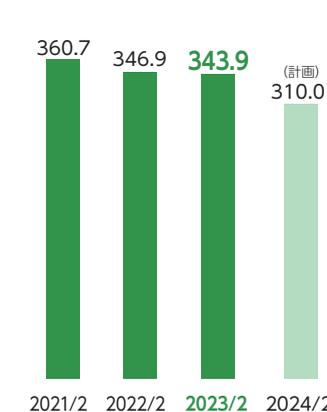
(単位：億円)



経常利益

343.9億円	前期比 99.1%
---------	--------------

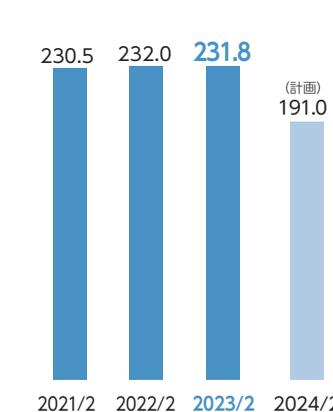
(単位：億円)



親会社株主に帰属する当期純利益

231.8億円	前期比 99.9%
---------	--------------

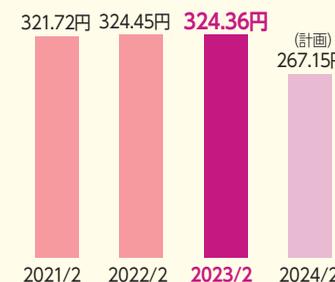
(単位：億円)



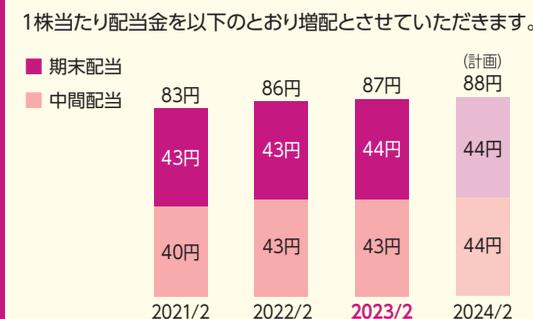
(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しています。2023年2月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっています。

*1.参考として当該会計基準等を適用する前の数値に代替えた2023年2月期の営業収益及び前期比(%)並びに2024年2月期業績予想数値を記載しています。

1株当たり 当期純利益



1株当たり 配当金



店舗戦略 進化し、深化する「youme」を

地域に根差し、お客さまのニーズに合わせて、さまざまな業態の店舗づくりを加速しています。

ゆめ(you me)あふれる地域との共創を目指し、それぞれの地域で、さまざまな業態の店舗戦略を展開しています。ここでは各地の店舗情報や地域貢献の最新トピックスをご紹介します。



ゆめモール西条

広島県東広島市

2022年10月27日
オープン!

オープンモール型NSC*1として広島県初出店

*1 近隣型ショッピングセンター



「ゆめモール」は、食品スーパー「ゆめマート」を中心に、利便性の高い多様な専門店を一カ所に集約したオープンモール形式の商業施設で、その広島県内初となる「ゆめモール西条」が、2022年10月27日(木)にオープンしました。広大な平面駐車場のまわりに食品スーパー「ゆめマート」やホームセンター、レストラン、家電量販店などを配置し、お客さまは目的の店舗近くに駐車することで、短時間にお買物が楽しめる大人気です。東広島市は子育て世代やミレニアル世代*2、Z世代*3など若い世代が多く、連日多くの利用客でにぎわっています。

*2 20代後半~30代 *3 10~20代前半

店舗概要

・敷地面積/約96,700㎡・延床面積/約33,900㎡・店舗面積/約29,300㎡・駐車台数/約1,380台

グランドオープン当日は約1,380台の平面駐車場が満車に

地域初の「衣・食・住」体験を提供

専門店

専門店のうち19店舗が東広島市初出店!これまで地域になかった商品やサービスを提供しつつ、さらに2023年秋までにはスポーツクラブなども次々に開業する予定です。



.st TEA HOUSE
アダストリアの公式WEBストア「.st (ドットエステイ)」がリアル店舗として出店。st初のカフェも好評です。

中国地方初 .st(ドットエステイ)

「毎日通う楽しみ」を発信

ゆめマート西条

東広島市に多く暮らす30~40代のお客さまの暮らしにあわせて、地元直送の生鮮食品とともに、即食商品や冷凍食品の品揃えも充実させています。



青果の約4割は地元の野菜で、鮮魚も市場直送にこだわっています。

Sustainability

イズミグループ初の「再生可能エネルギー100%店舗」です。

ゆめマート西条は、使用電力の100%を再生可能エネルギーでまかなう店舗です。さらには牡蠣パイプの一部再利用や、食品ロス削減などを積極的に呼びかけることで、持続可能な社会実現に貢献しています。



太陽光発電パネル



牡蠣パイプの一部再利用



食品ロス対策

ブランドショップ地域一番店を目指して

エクセル姫路店 2023年3月16日(木)OPEN!

ゆめタウン姫路内に「エクセル姫路店」がオープンしました。当店は、イズミのライフスタイル部への統合後、初のエクセル出店となります。エクセルは、ブランドショップとしての地域一番店を目指し、エルメス・プラダ・モンクレール等のハイブランドの品揃えを強化しています。『百貨店やセレクトショップに行かなくても、エクセル姫路店に行けば欲しいものがお得にお買物できる』をコンセプトに、地域のお客さまに愛される店にしていきます。



ナチュラル志向の新感覚ブランドショップ登場

「studio CLIP」 フランチャイズ第1号店OPEN!

2023年4月6日(木)、ゆめタウン行橋に「studio CLIP(スタジオクリップ) ゆめタウン行橋店」がオープン。当店は、「studio CLIP」フランチャイズ第1号店です。「studio CLIP」は、ナチュラルで丁寧な暮らしを好む女性のお客さまから支持されているライフスタイルブランドで、アパレルやファッション雑貨に加え、インテリア雑貨やキッチン・テーブルウェアなど幅広く展開しています。同ブランドの導入により、店舗の付加価値を高め、地域経済の活性化や新たな雇用の創出に繋げていくことを期待しています。



ゆめテラス祇園

広島市安佐南区

2023年6月1日(木)
食品スーパー先行OPEN!

さらに、2023年秋に全館グランドオープン!



ゆめテラス祇園は、「日々の豊かさ・憩い・集い」を生みだせる「地域のみなさんにとって誇らしいお店」をコンセプトに、日々の生活を支え、利便性を重視し、環境にやさしく、快適で健康な暮らしを提供していくコミュニティ拠点を目指します。

店舗概要 | 敷地面積/約12,900㎡

ゆめタウン飯塚

福岡県飯塚市

2023年7月29日(土)
グランドOPEN!

最先端の体感交流と出会える施設。



多様化するライフスタイルへの対応や高感度な情報発信、地域に今までなかった高品質な商品やトレンド商品の展開など、「最先端のMIRAIに出会える体感交流拠点」をコンセプトに体験・共感・感動できる店舗づくりを推進します。

店舗概要 | 敷地面積/約55,200㎡・専門店数/約100店舗

ゆめタウン廿日市での地域と連携した多彩な活動が評価されました
「令和4年度ふるさと企業大賞(総務大臣賞)」を受賞

小売業では
全国初

受賞ポイント(ゆめタウン廿日市での活動)

- ◆ 廿日市市と包括連携協定を締結し、市民ホールや市政情報用の掲示板を設置。
- ◆ 多くの従業員を雇用し、地域内の雇用創出に貢献。
- ◆ 地域の方も利用可能な保育施設を設置し、働きやすい労働環境を実現。
- ◆ 屋上に太陽光発電パネルを設置し、スーパーマーケット1店舗分に相当する電気が発電でき、CO2排出量の抑制に貢献。
- ◆ 食品廃棄量の「見える化」やプラスチック製品の削減などSDGsへの取り組みを強化。
- ◆ 地元企業と連携して「地元マルシェ」や「地産地消フェア」など地域との取り組みを推進。

イズミは、昨年11月3日、一般財団法人地域総合整備財団(ふるさと財団)主催の「令和4年度ふるさと企業大賞(総務大臣賞)」を受賞しました。この賞は、ふるさと融資を利用した民間事業者のうち、地域経済及び雇用や地域のイメージアップ、魅力あるふるさとづくりに貢献している事業者を表彰するもので、当社ではゆめタウン廿日市での地域貢献活動が評価されました。



廿日市市 松本 太郎市長(右)と当社社長 山西 泰明



生後2カ月からの乳幼児を保育。従業員だけでなく地域住民のお子さんも受け入れる。



地域住民の皆さんの発表の場や交流の場に。

店内の「ゆめジャングルほいくえん」

地元の美味を紹介「吉和マルシェ」

企業版ふるさと納税制度を活用
別府市など7市に寄付を実施

イズミは出店地域の活性化に貢献するため、企業版ふるさと納税制度を活用した寄付活動を行っています。

本年2月8日には、大分県別府市に2億5千万円の寄付を贈呈。山西社長は「別府市が計画する新しい図書館の建設や、子育て支援などに役立ててください」と、別府市の長野市長に想いを伝えました。

■ 寄附金贈呈先一覧

2021年 6月14日	筑後市
2022年 3月10日	宗像市
2022年 3月22日	飯塚市
2022年 5月23日	筑後市
2022年 9月15日	うきは市
2022年12月 8日	東広島市
2023年 2月 8日	別府市



左から別府市 市原 隆生市議会議長、当社社長 山西 泰明、別府市 長野 恭紘市長

地域活性化や災害時の備えなどの課題解決をサポート
各地で協定を締結しています

協定締結数 **88** (2023年3月31日時点)

イズミは、一つひとつの地域に「新しい価値」と「新たなまちづくり」を提供することを重要な経営テーマとしており、その実現を目指して各地域の行政と協定を締結し、地域活性化や災害への備えなど地域の課題を解決するお手伝いをしています。これからも、より積極的に、より多くの地域と連携強化をはかっていきます。



飯塚市 片峯 誠市長(左)と当社社長 山西 泰明

■ 2022年9月以降の協定一覧(2023年3月31日時点)

10月 6日	行橋市	包括連携協定
10月20日	柳井市	包括連携協定
10月20日	東広島市	地域活性化包括連携協定
10月27日	八女市	地域活性化包括連携協定
11月11日	防府市	包括連携協定
11月21日	長崎市	包括連携協定
11月25日	三豊市	地域活性化包括連携協定
12月15日	江津市	地域活性化包括連携協定
1月20日	山口市	包括連携協定
2月 3日	飯塚市	包括連携協定
2月24日	呉市	地域活性化包括連携協定
3月16日	八代市	地域活性化包括連携協定
3月23日	久留米市	包括連携協定
3月29日	熊本市	包括連携協定

広島県内の店舗で地域の人々とともに
G7広島サミットを盛り上げる活動をしています
 [G7広島サミットの日程:5月19日~21日]

イズミでは、サミットの気運を盛り上げるため、グループをあげて地域の人や組織と連携しながら、さまざまな取り組みを実施しました。



広島サミット県民会議 公式ロゴ

G7広島サミットへの主な取り組み

- G7広島サミットゆめかを限定発行(限定3,500枚)
- 広島サミット県民会議ブースでパネルを展示

2/18 ゆめタウン廿日市	3/4 ゆめタウン福山
2/25 ゆめタウン東広島	3/18 ゆめタウン吉田
- 広島商工会議所と連携して地域の清掃活動を実施
- 「スポGOMI×UNIQLO」、「スポGOMI×GU」を開催

4/8 ユニクロ・GU ゆめタウン広島店
4/9 ユニクロ・GU ゆめタウン廿日市店

※スポGOMIは、「ゴミ拾いはスポーツだ!」を合い言葉に、ゴミ拾いを楽しむイベントです。



G7広島サミットゆめか



広島サミット県民会議ブース(ゆめタウン廿日市) オリジナル折り紙で折り鶴体験などを実施



お客さま、地域、テナントさま、社員とともに

イズミが取り組むサステナビリティ

希望あふれる「持続可能な未来」を目指して、グループ一丸となってサステナビリティ活動に取り組んでいます。その具体的な取り組み例をご紹介します。

健康経営の取り組み

～CHO(Chief Health Officer)メッセージ～

私たちは、経営理念である「社員が誇りと喜びを感じ、地域とお客さまの生活に貢献し続ける」の実現を目指し、お客さまと従業員の健康や福祉をサポートし、地域の皆さまの健康に繋がるイベントや活動を行うことで、youme(夢)ある社会づくりに取り組んでいます。

4月6日に「健康経営宣言」を発信し、従業員やお客さま、地域の皆さまの「健康維持・増進」への取り組みを本格始動しました。



株式会社イズミ CHO 執行役員 沼本 真輔

イズミグループ 健康経営宣言

従業員に寄り添い、健康づくりを支援し、働き甲斐のある職場を目指します。

- ① 生活習慣病対策：健康維持、健康増進を目指します。
- ② 健康診断：定期健診受診率100%達成します。
- ③ 女性の健康：女性の活躍推進を健康面から支援します。
- ④ 過重労働対策：長時間労働による健康障害発生リスクを低減します。
- ⑤ メンタルヘルス対策：心身ともに健康で、働きやすい職場を実現します。
- ⑥ 喫煙対策：卒煙啓発や支援を実施し喫煙率低下を目指します。

従業員

商品・サービスを通じてお客様の健康と福祉をサポートします。

- 味や品質にこだわりながら塩分・糖質の低減に取り組む商品開発を行います。
- お客さまの関心が高い成分表示の徹底、健康サポート商品を提供します。
- セルフメディケーション推進や、オーラルケアの充実・拡大により健康的な毎日を支えていきます。
- 健康的な食生活を提供することで、お客さまの健康増進に寄与していきます。

お客さま

地域の健康寿命を延ばし、youme(夢)ある社会に貢献します。

- 「ウォーキング・健康測定」イベントを実施します。
- 「献血会場・健診会場・ワクチン集団接種会場」を提供します。
- 行政との包括連携協定を通じて健康体操などの「健康推進活動」の場所を提供します。

地域の皆さま



「てまえどり」の促進と子ども食堂支援の取り組み 「もぐもぐチャレンジ」全99店舗で開始

2021年に3店舗からスタートした「もぐもぐチャレンジ」を順次拡大し、2023年2月、全店舗に導入しました。

「もぐもぐチャレンジ」は、もぐにいシールが貼られた賞味・消費期限間近の商品をお客さまが購入後、店内の専用台紙にシールを貼ることで、近隣の子ども食堂へ寄付を行う活動です。

この取り組みを通じて、食品ロス削減活動を推進していくとともに、お客さまとともに環境問題や消費行動を考えていく機会を広げていきます。



毎日の買い物を通じて資源や環境を考える活動 「BE+CAUS」キャンペーンを展開

「youme MIRAI Action」の一環として、BIPROGY株式会社が提供する「ソーシャルアクションプラットフォームBE+CAUS(ビーコース)」(*)を活用したキャンペーンを展開しています。

「BE+CAUS」は、日常的な買い物を通じて資源や環境を考える機会を提供する活動で、例えば株式会社サラダクラブ様との連携では、サラダクラブ商品の購入で農業体験の機会やコンポスの体験キットをプレゼント。またネスレ日本株式会社様との連携では、環境に配慮したネスレ製品を買うことで、子どもたちがエコ体験を学ぶプログラムを提供するなどの活動を行っています。



イズミ×サラダクラブ

イズミ&ネスレ日本

※「BE+CAUS」は、日常的な買い物を通じて小売・メーカー企業とちからを合わせてNPO・NGO団体の活動を応援できる新しい仕組みです。

家庭で余剰となっている食料品を回収し地域の施設へ 地元の大学と連携して「フードドライブ」実施

ゆめマートとゆめタウン(47店舗※)では、家庭で余剰となっている食べ物を持ち寄り地域の福祉団体や施設に寄付する食料品回収活動「フードドライブ」を実施しています。※2023年2月末時点。

ゆめマート八木では、活動をさらに広げようと、2022年11月と2023年2月、大学祭などで積極的にこの活動を行っている広島文教大学の学生さん達と一緒に「フードドライブ」を実施。地域の皆さまからのご協力により、合計362点の食料品を回収しました。



もったいない!をみんなでなくそう!

「てまえどり」をテーマに 「フードロス削減ポスター」デザインを募集

10月の「食品ロス削減月間」に合わせ、「てまえどり」をテーマにした「第2回フードロス削減ポスター」のデザイン募集を行い、最優秀賞の作品を2023年度の啓発ポスターとして各店に掲示しています。また、一部店舗では巡回展を行い多くの共感をお寄せいただきました。イズミでは、こうしたお客さまへの啓発活動とともに、事業者として食品廃棄量の見える化管理や需要予測型自動発注システム導入による発注精度の向上などに取り組み、食品ロス削減を進めています。



フードロス削減ポスター最優秀賞
(香川県) 竹森 ゆのさんの作品

ともに「夢」を育てるイズミグループ

株式会社 ウオッチ・ビジネス・カンパニー 「OWNDAYS TIMETIMEゆめタウン八女店」 新規オープン



人気商品

レディース GB1029B-1S(上)
メンズ SNP1017N-2S(下)
※メンズ人気商品はサングラスにもなる便利な2WAYグラス。

12月3日に「TIMETIME八女店」をメガネのOWNDAYSとコラボレーションし「OWNDAYS TIMETIMEゆめタウン八女店」として新規オープンいたしました。

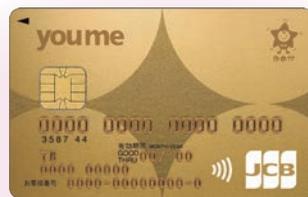
ファッション・ライフスタイルを彩るEYEウェアとG-SHOCKをはじめ国内ブランドなど幅広くラインナップされた時計が一度に見ることのできる新業態です。オープン後はCM・SNSの効果もあり30代・40代のお客さまにご利用いただいています。

新しいファッションの提案とゆめタウンの魅力アップに貢献していきます。

株式会社 ゆめカード

ゴールドカードおよび提携カード発行

2022年はゆめカードクレジット券面の刷新を行い、同時にゴールドカードの発行を開始しました。2023年2月末現在で約3万枚の発行と順調に会員数を増やしています。今後も促進を強化し、ロイヤルカスタマー化と外部収益拡大を図っていきます。また、広島ドラゴンフライズ、徳島ヴォルティスといった地域のスポーツチームと提携クレジットカードの発行も開始しました。今後もこのような地域貢献の取り組みを強化します。



イズミグループは、小売事業を中核とし、無駄のないスリムなグループ構造を維持すると同時に、その他関連事業とのシナジー効果を追求していきます。
各グループ企業が、それぞれの特性を活かしつつ、積極的に事業展開することで、お客さまに新たな驚きと感動をお届けいたします。

株式会社 ゆめマート北九州

地域貢献とSDGsへの取り組み

2022年ゆめマート北九州では、地域貢献・SDGsの取り組み元年と位置付け様々な活動を行いました。北九州市は高度経済成長下での公害問題を克服し、「SDGs未来都市」に選出される都市になりました。当社では5月に北九州市SDGs登録事業者として登録されました。①地場商品販売促進 ②女性の活躍推進 ③CO₂排出量削減を大きな取り組みの柱としてサステナブルな企業を目指し今後も活動します。



株式会社 ゆめマート熊本

地域貢献を通じてお客さまへ満足と感動を

当社は、「地域一番のお客さまの店舗」を目指し、小売業を営む企業として、地域社会の発展とそこで暮らす人々の豊かで幸せな暮らし作りのお役に立てる企業でありたいと考えます。8月には菊陽町と地域活性化包括連携協定を締結しました。現在、ゆめマート菊陽において、フードドライブで回収された食品を社会福祉協議会へ寄贈しています。今後もスーパーマーケット事業を通じて地域のお役に立てる取り組みを行います。



ゆめマート熊本 藤木 淳社長(左)と菊陽町社会福祉協議会 後藤 三雄会長

株式会社 イズミテクノ

2月12日にイズミテクノが指定管理者として管理・運営を行う、広島県立ふくやま産業交流館で「防災・安全」をテーマとした「ゆめフェスタinビッグ・ローズ」を開催いたしました。当日は6,816人にご来場いただき大盛況となりました。開催にあたり、広島県や広島県警をはじめ、福山市消防局、自衛隊などとの連携をし、地域の皆さまに楽しく「防災・安全」について考える機会を作ることができました。今後も地域との繋がりを継続し、恒例行事としての定着を目指します。

広島県立ふくやま産業交流館 「2023 ゆめフェスタinビッグ・ローズ」開催



2023年2月期 [連結] 決算概況

■ 連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	前期末 2022.2.28	当期末 2023.2.28
(資産の部)		
流動資産	88,867	100,067
固定資産	379,931	378,474
有形固定資産	329,367	328,209
無形固定資産	11,234	11,831
投資その他の資産	39,329	38,433
資産合計	468,798	478,541 1
(負債の部)		
流動負債	93,835	107,064
固定負債	112,529	93,372
負債合計	206,364	200,437 2
(純資産の部)		
株主資本	247,515	263,329
資本金	19,613	19,613
資本剰余金	22,580	22,753
利益剰余金	206,121	221,682
自己株式	△ 800	△ 720
その他の包括利益累計額	1,173	1,706
非支配株主持分	13,744	13,068
純資産合計	262,433	278,104 3
負債純資産合計	468,798	478,541

1 総資産

4,785億円 [前期末比97億円増加]

- ・受取手形、売掛金及び契約資産は、クレジット取扱高の増加等により4,698百万円増加しました。
- ・商品及び製品は、商品構成の見直し等により3,360百万円増加しました。
- ・当期の設備投資額は17,615百万円であり、これは主に店舗新設に係る投資、既存店舗の活性化及びDX投資等によるものです。有形固定資産は、減価償却実施後で1,157百万円減少しました。

2 負債

2,004億円 [前期末比59億円減少]

- ・その他流動負債は、収益認識会計基準等を適用したこと等により10,380百万円増加しました。
- ・未払金は、店舗新設に係る設備未払金の増加等により6,703百万円増加しました。
- ・短期借入金及び長期借入金は、22,810百万円減少しました。

3 純資産

2,781億円 [前期末比156億円増加]

- ・利益剰余金は、収益認識会計基準等の適用に伴い、利益剰余金の当期首残高が1,449百万円減少した一方、内部留保の上積みにより15,561百万円増加しました。
- ・これらの結果、自己資本比率は55.4%となり、前期末の53.0%に比べて2.4ポイント上昇しました。

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、2023年2月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっています。

■ 連結損益計算書

(単位: 百万円)

科目	前期 2021.3.1~ 2022.2.28	当期 2022.3.1~ 2023.2.28
営業収益	676,800	460,140 4
売上高	643,280	406,857
売上総利益	145,943	136,245
営業収入	33,519	53,282
営業総利益	179,463	189,528
販売費及び一般管理費	144,745	155,883
営業利益	34,717	33,644
経常利益	34,696	34,396 5
税金等調整前当期純利益	34,280	34,265
法人税等合計	10,758	10,843
当期純利益	23,521	23,421
非支配株主に帰属する当期純利益	317	232
親会社株主に帰属する当期純利益	23,204	23,188 6

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科目	前期 2021.3.1~ 2022.2.28	当期 2022.3.1~ 2023.2.28
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,577	38,313
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,246	△10,045
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,016	△29,557
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13,685	△1,289
現金及び現金同等物の期首残高	25,306	11,621
現金及び現金同等物の期末残高	11,621	10,331

4 営業収益

4,601億円 [前期比 103.5%] ※1

- ・営業収益は460,140百万円(前期676,800百万円)となりました。収益認識会計基準等の適用により、従来一部の専門店から受け取る対価の総額を収益として認識していましたが、代理人取引に該当するものとして純額で収益を認識する方法に変更しました。
- ・売上総利益は、136,245百万円(前期145,943百万円)となり、営業収益対比では29.6%となりました。
- ・販売費及び一般管理費については、昨年度に引き続き筋肉質な経営体質の定着のため経費抑制に努めた一方、エネルギー価格の高騰に伴う水道光熱費の増加などにより155,883百万円(前期144,745百万円)となり、営業収益対比では33.9%となりました。
- ・これらの結果、営業利益は33,644百万円(前期34,717百万円)となり、営業収益対比は7.3%となりました。

5 経常利益

343.9億円 [前期比 99.1%]

- ・営業外収益は1,388百万円(前期1,600百万円)となりました。一方、営業外費用は、持分法による投資損失及び支払利息の減少などにより636百万円(前期1,621百万円)となりました。
- ・これらの結果、経常利益は34,396百万円(前期34,696百万円)となり、営業収益対比は7.5%となりました。

6 親会社株主に帰属する当期純利益

231.8億円 [前期比 99.9%]

- ・法人税等は10,843百万円となりました。非支配株主に帰属する当期純利益は232百万円(前期317百万円)となりました。
- ・これらの結果、親会社株主に帰属する当期純利益は23,188百万円(前期23,204百万円)となり、営業収益対比は5.0%となりました。

※1.参考として当該会計基準等を適用する前の数値に組替えた2023年2月期の営業収益及び前期比(%)を記載しています。

■ 会社概要

(2023年2月28日現在)

設立年月日 1961年10月27日
 本社所在地 広島市東区二葉の里三丁目3番1号
 TEL 082-264-3211(代)
 資本金 19,613,856,196円
 従業員数(連結) 正社員 4,407名
 パートタイマー 10,930名(1日8時間換算)

店舗数(連結) 190店舗*(GMS・SC 63店舗、NSC 4店舗、SM 117店舗*、その他 6店舗)

中国エリア:93店舗
 GMS・SC 38店舗 NSC 2店舗 SM 51店舗* その他 2店舗

九州エリア:83店舗
 GMS・SC 19店舗 NSC 2店舗 SM 60店舗 その他 2店舗

四国エリア:10店舗
 GMS・SC 4店舗 SM 6店舗

その他のエリア:4店舗
 GMS・SC 2店舗 その他 2店舗

※(株)ユアーズのゆめタウン廿日市への出店が含まれます。

■ 役員一覧

(2023年5月24日現在)

代表取締役社長	山西 泰明
取締役副社長	三家本 達也
取締役副社長	町田 繁樹
取締役	黒本 寛
取締役	山西 大輔
社外取締役	西川 正洋
社外取締役	米田 邦彦
社外取締役	青山 直美
常勤監査役	久永 英明
社外監査役	堀川 智子
社外監査役	岡田 弘隆

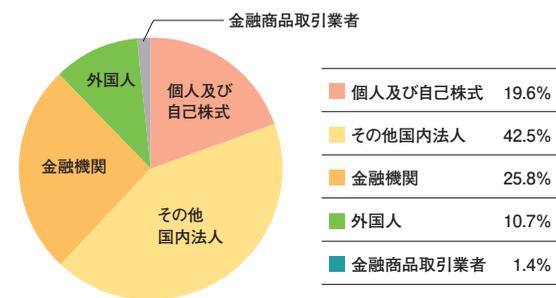
専務執行役員	梶原 雄一朗
上席執行役員	溝口 晋
上席執行役員	阿部 睦夫
執行役員	岡本 圭史
執行役員	沼本 真輔
執行役員	河崎 智広
執行役員	山野 正道
執行役員	小林 篤志
執行役員	松重 健
執行役員	柳井 忠利
執行役員	平 公成
執行役員	廣瀬 伸作
執行役員	宮次 太功

■ 株式の状況

(2023年2月28日現在)

発行可能株式総数 195,243,000株
 発行済株式の総数 71,665,200株
 株主数 14,228名
 1単元の株式数 100株

■ 単元株式の所有状況

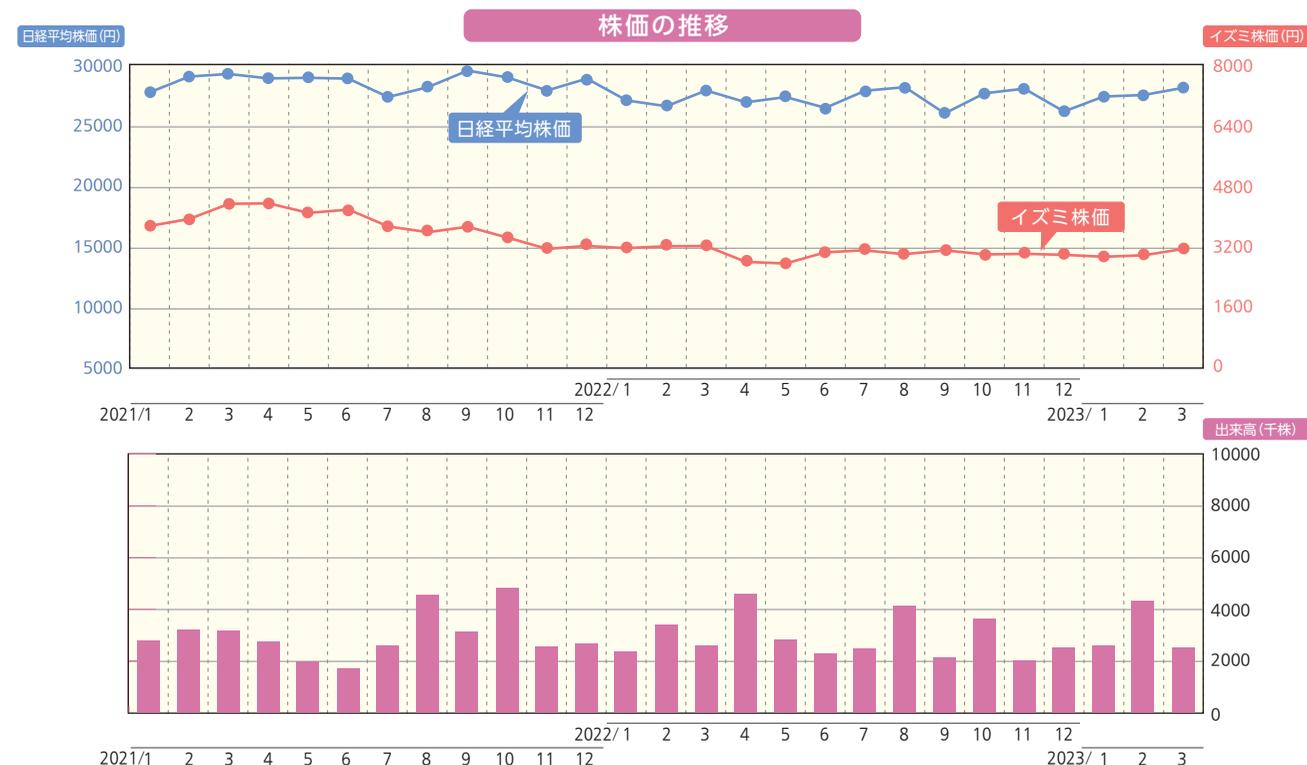


■ 大株主の状況

(2023年2月28日現在)

株主名	持株数	持株比率
山西ワールド(株)	19,935千株	27.9%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	5,066千株	7.1%
第一不動産(株)	4,208千株	5.9%
(株)日本カस्टディ銀行(信託口)	3,232千株	4.5%
(株)広島銀行	2,362千株	3.3%
日本生命保険(相)	2,093千株	2.9%
全国共済農業協同組合連合会	2,091千株	2.9%
山西 泰明	2,048千株	2.9%
イズミ広島共栄会	2,031千株	2.8%
第一生命保険(株)	1,871千株	2.6%

(注)持株比率は、自己株式(168,894株)を控除して計算しています。



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日
公告方法	電子公告 (やむを得ない事由のある場合 日本経済新聞)
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[郵便物送付先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[電話照会先]	☎ 0120-782-031
[WEB照会先]	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行では手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記電話照会先までご連絡ください。

■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。
特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

株主優待制度

株主ご優待券またはギフト券(選択制)

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、「株主ご優待券」か「ギフト券」をお選びいただき、ご所有株式数に応じて以下のとおりお贈りいたします。

ご所有株式数	株主ご優待券	ギフト券
100株以上	20枚 (2,000円相当)	500円相当
200株以上	30枚 (3,000円相当)	
300株以上	40枚 (4,000円相当)	
400株以上	50枚 (5,000円相当)	
500株以上	60枚 (6,000円相当)	
1,000株以上	100枚 (10,000円相当)	2,000円相当
2,000株以上	200枚 (20,000円相当)	
3,000株以上	300枚 (30,000円相当)	
4,000株以上	400枚 (40,000円相当)	
5,000株以上	500枚 (50,000円相当)	
6,000株以上	600枚 (60,000円相当)	
8,000株以上	800枚 (80,000円相当)	
10,000株以上	1,000枚 (100,000円相当)	

※「株主ご優待券」は、1千円以上のお買上につき、1千円ごとに各1枚(100円割引券)をご使用いただけます。

長期保有特典制度

毎年2月末日時点で、当社株式を2年以上継続して保有され、かつ毎年2月末日時点で300株以上保有の株主様に、現行の優待制度(選択制)に応じて、「自社商品券」または「ギフト券」のいずれかを年1回贈呈いたします。

ご所有株式数	自社商品券※1	ギフト券※2
	現行制度に株主優待券をお選びの株主様	現行制度にギフト券をお選びの株主様
300株以上	2,000円相当	500円相当
1,000株以上	4,000円相当	1,000円相当

※1 「自社商品券」は、ゆめタウン、ゆめマート、ゆめシティ、LECTの各店舗、(株)ユアーズ、(株)デイリーマート、(有)はなわの店舗等でご利用いただけます。専門店によっては一部ご利用できない店舗がございます。

※2 「ギフト券」は全国でご利用いただける三菱UFJニコスギフトカードを贈呈いたします。

泉美術館ご招待券の贈呈

2023年2月28日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様へ「泉美術館ご招待券」を贈呈させていただきます。

公益財団法人

泉美術館



■ 開館時間

午前11時から午後5時(入館は午後4時30分まで)

■ 休館日

月曜日(祝日・振替休日の場合は開館)

年末年始(12月30日～1月1日)

※展示替えによる臨時休館日

■ 住所

〒733-0833

広島市西区商工センター2丁目3番1号 エクセル5階

TEL (082) 276-2600

■ ホームページ <https://izumi-museum.jp/>